



羽生プロ転向

競技会出場せず

「4回転半挑戦続ける」

フィギュア五輪2連覇

フィギュアスケート男子で2014年ソチ、18年平昌両冬季五輪王者の羽生結弦(27)＝ANA＝が19日、東京都内で記者会見し、第一線を退く意向を表明した。「プロのアスリートとしてスケートを続けることを決意した。競技者として比べられ続けることはなくなつた」と話した。今後につ

いて「4回転半(ジャンプ)を含めて挑戦を続けて、これからも高いステージに行けるように頑張る。理想を追いながら頑張る」と話した。2月の北京五輪で3連覇を逃して4位に終わり、進退について「(競技会かアイスショーか)フィールドを問わない」などと明言し

ていなかったが、五輪などの競技会に出場しないことを決断した。仙台市出身。4歳でスケートを始め、11年の東日本大震災で被災した逆境を乗り越え、ソチ五輪で同種目の日本勢初の金メダル。平昌五輪では同種目で66年ぶりの2連覇を達成し、冬季五輪金メダリストで初めて、個人としては最年少23歳で国民栄誉賞を受賞し

た。北京五輪では前人未達のクワッドアクセル(4回転半ジャンプ)の成功も目指したが、フリーで挑んで転倒した。羽生は10～11年シーズンにシニアに転向。五輪や世界選手権、グランプリ(GP)ファイナルなどの主要タイトルを総なめにしてきた。10年以上も世界のトップで活躍してきたが、時代の終わりを告げた。



記者会見するフィギュアスケート男子の羽生結弦。第一線を退く意向を表明した＝19日午後、東京都内のホテル

羽生結弦選手の歩み

- 1994年 ● 宮城県仙台市で生まれる
- 99年 ● 4歳でスケートを始める
- 2010年 ● 世界ジュニア選手権で初優勝
- 11年 ● 仙台市で練習中に東日本大震災で被災
- 12年 ● カナダのトロントに練習拠点を移す
- 13年 ● グランプリ(GP)ファイナルで初優勝
- 14年 ● 19歳でソチ冬季五輪金メダル
● 世界選手権で初優勝
- 16年 ● 世界初の4回転ループ成功
- 17年 ● 世界選手権で2度目の優勝
- 18年 ● 23歳で平昌五輪金メダル。
男子で66年ぶりの2連覇
● 国民栄誉賞受賞
- 20年 ● 四大洲選手権で初優勝。男子初の主要国際大会全制覇
- 22年 ● 27歳で北京五輪4位。クワッドアクセル(4回転半ジャンプ)挑戦が認定される。主要国際大会で初めて